



横浜市立 瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成29年8月28日
平成29年度・第1号

平成29年度新役員が決定し、協議会だより第1号は各部会の方々に今年度の活動方針や諸々のご意見を語っていただきました。

自分の命を守り、家族や地域の方々を思いやれるさくらの子を

学校運営協議会会長 網代宗四郎

連日大変暑い日が続いておりますが、皆様にはご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃は、瀬谷さくら小学校運営協議会の運営に温かいご理解とご支援を賜っております事に心より御礼申し上げます。今年度も皆様のご理解ご協力を頂きながら主に次のような活動をしてまいります。

児童の皆さんが、安全に安心して登下校できますよう、登下校中の見守りと交通安全指導を学援隊の方々や、地域の方々のご協力を頂き行ってまいります。

児童の皆さんの学習やクラブ活動の支援を、さくらの子応援隊の皆さんに行っていただきます。交流会主催の「さくら小地域夏祭り」は好天に恵まれ賑やかに開催されました。児童の皆さんには、楽しい思い出として何時までも心に残るものと思います。

今後も、各自治会・町内会及び諸団体に於かれて、児童の皆さん相互の、地域の方々と児童の皆さんの交流が図られる取組をしていただけるようお願いしてまいります。

学校運営への理解と協力、そして適切な評価を行いますと共に、運営協議会の活動を皆様にご理解いただくための広報活動を学校評価・広報部会の皆さんと一緒に行ってまいります。また、広報活動の一環と致しまして、来校される保護者・地域の皆様に協議会の活動をパネルにまとめて見て頂く予定です。

災害から児童の皆さんを何時、如何なる状況の中でも守る為の、学校・保護者・地域等の役割や連携を検討・啓発を致します。

児童の皆さん一人ひとりが、地震災害や風水害から自分の命を守る事が出来るよう、さらに、家族の・地域の一員として家族や地域の皆さんの役に立てる人になっていただけるよう「防災マニュアル」を配布して役立てていただきたいと思いますと考えております。

ひなた山地区から通学されておられる児童の皆さんの、通学時間の短縮と交通安全を考え通学路の変更を考えております。信号の設置や防犯灯の設置及び一部通学路の拡幅等課題は多くあります。又、行政区が泉区と瀬谷区になります。長年信号機の設置等にご尽力なされておられます馬場会長様共々皆様のご支援をいただきながら取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げます。



平成29年度に向けて

瀬谷さくら小学校 校長 伴 英子

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

去る7月22日、23日には、前期のメインイベントである「さくら小地域夏祭り」が盛大に開催されました。地域の皆様のお力の大きさを改めて感じることでできた2日間でした。本当にありがとうございました。

さて、昨今、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきております。昔はこうではなかったとお感じの皆様も多いのではないのでしょうか。例えば、自然です。連日、猛暑・熱暑に見舞われ、水分補給と熱中症対策は当たり前となってまいりました。また、梅雨時の「しとしと降る雨」はどこへ行ったのでしょうか。突然の雷や突風とともにやってくる豪雨には、子どもたちの登下校の安全をまず第一に考えなければなりません。人的な環境も大きく変わりつつあります。家庭・家族の形の変容、虐待の増加があり、本来なら最も信頼すべき顔見知りの人の犯行など、せっかく培ってきた地域とのかかわりを台無しにする行為も耳にするようになりました。社会的な現象としては、インターネットの普及などによる犯罪や友達関係のトラブルなどがあります。さらに、生活スタイルの変化から深夜まで家族で楽しむことも少なくありません。夜遅く外を出歩く子どもたちの姿が当たり前のように見られるようになりました。



こうした環境の中、学校を多角的・多面的に支援していただく仕組みとして、学校運営協議会が設置されています。「学校運営協議会は、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することを通じて、地域に開かれた信頼される学校づくりを進めるとともに、より良い教育の実現を目的に設置する合議制の機関です。横浜市では平成28年度までに506校中142校に設置されています。(横浜市教育委員会HP「学校運営協議会」のページより)」

今年度の学校運営の方針は、これまでの武藤校長の方針を引き継ぎつつ、新たに「特別支援教育の視点」を加え、一人ひとりの子どもたちの教育的ニーズに応えることと、いじめを許さない人間関係の構築を行うことを中心にして、進めてまいります。学校運営協議会での議論を基に、ますます学校教育活動を充実させていきたいと思っております。どうぞさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

今年度も学校運営協議会で学校行事をはじめとする教育活動等にご示唆をいただき、学校と家庭と地域の連携を深めることができました。瀬谷さくら小学校の開校当時から、児童が生き生きと学校生活を送れるように保護者や地域の皆様の参画による学校づくりの推進を学校運営協議会が担ってまいりました。5部会それぞれの活動を充実させることのみならず、5部会の連携を図ることや区役所、警察署等の外部機関との関係づくりも進めていただきました。児童の安全の見守りや学校生活の充実、地域における児童の健全育成と児童の生活の至る所で見守り励ましてくださっていたことに感謝いたします。

その成果として、昨年12月、文部科学大臣よりさくらの子応援隊が「地域学校協働活動」の表彰を受けました。これは、地域と学校の連携・協働を推進している団体を表彰するものです。算数サポートや算数補充の取組、教育活動への地域の人材活用、学援隊による安全の見守りや安全指導への協力、地域祭りや地域行事との連携や防災教育への支援等、多くの活動を通して学校と家庭、地域をつなぐ役割を果たしている学校運営協議会の実績にもつながるものと考えます。このような多くの支援への感謝の思いは、学校職員をはじめ児童の姿でお伝えすることが一番だと思っています。25日に、さくらマラソンを実施しました。多くの保護者や学援隊をはじめとした地域の皆さんの応援を受けて

走る児童の一生懸命な姿もその一つです。これまでの皆様の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも瀬谷さくら小学校へのご支援をお願い申し上げます。

1. 『平成29年度瀬谷さくら小学校 学校運営協議会委員』

	氏 名	役 職
会 長	網代 宗四郎	瀬谷第二地区連合自治会長 南瀬谷ニュータウン自治会長
副会長	馬場 勝己	上飯田連合自治会長 ひなた山第二自治会長
副会長	今井 保美	前ひなた山地区自治会連絡協議会会長
地域住民	黒木 昭博	下瀬谷自治会長
地域住民	倉持 義昭	下瀬谷団地自治会会長
地域住民	村松 相司	さくらの子応援隊
地域住民	渡辺 良彦	前グリーンハイムひなた山自治会長
地域住民	野口 元	瀬谷さくら小学校学援隊事務局長
地域住民	芦田 順子	地域コーディネーター
保護者	力田 良雄	瀬谷さくら小学校 PTA 会長
学識経験者	諸橋 茂夫	隼人高校教諭
教育委員会が適当と認める者	伴 英子	学校長

2. 運営協議会 組織

- ・推進委員会(事務局) 網代 宗四郎 馬場 克己 野口 元 力田 良雄
伴 英子 中島 早苗 朝川 健太郎 小湊 清隆
- ・部会及び所属
 - さくらの子応援隊部会 野口 諸橋 渡辺 村松 芦田
 - 地域連携部会 黒木 今井 力田
 - 学援隊部会 馬場 野口
 - 広報・学校評価委部会 渡辺 芦田 力田
 - 児童を災害から守る検討部会 網代 馬場 倉持 力田)

【各部会から】

元気な挨拶と明るい笑顔が元気のみなもと

学校運営協議会副会長

学援隊 隊長 馬場 勝己

暑い夏真っ盛りです。待望の夏休みがやってきました。学援隊の皆さんも登下校の見守り、学習支援が夏休みとなり一息ついているところと思います。私の子どもどころ、7月になると早く夏休みにならないかと、心待ちにしていたものです。その思いは今も昔も変わっていないと思います。

子ども達は、夏休みにいろいろな経験を経て、ひと回り大きく成長いたします。早くその姿を見てみたいものです。新学期の登校日が待たれます。

瀬谷さくら小学校の学援隊員は現在、下瀬谷地区、ひなた山地区併せて120名程です。学習支援の方々を加えると150名を超えますが、横浜市内でこれほどの規模の活動を行っている小学校は外にないと自負しています。改めてご協力いただいている皆様方に感謝と御礼を申し上げる次第です。

高齢化が進む中、少しずつ隊員が減少傾向です。隊員の確保が喫緊の課題でもあります。私も元気なうちはこの活動を続け、子ども達の安心、安全を守り、健全育成に努めて参りたいと思っております。

何と云っても、子ども達の元気な挨拶と明るい笑顔に触れることが、私たち学援隊の元気なみなもとです。これからも健康に留意して頑張ってまいりましょう。



「さくらの子応援隊」雑感

さくらの子応援隊 野口 元

「さくらの子応援隊」(当初は教育支援隊)が始まって7年目になります、当初は手探りの活動でしたが、算数補充、算数サポート、クラブ支援と活動は広がっています。

参加者は延べにすると70名ほどになります、算数サポートは年に24回ありますが、皆勤の方が毎年数名おられます、暑い日、寒い日、雨の日といろいろです、歳とともに立ったままの2時間はきついですし、4階まで階段を上がるのもきつくなります、本当に頭が下がります。授業が終わってから「ありがとう」「また来て下さい」と挨拶されると、そんなことも忘れて元気が出て翌週も元気よく参加してしまいます。

5月1日に「学援隊とさくらの子応援隊の紹介」が体育館で全校生徒の朝会で行われました。可愛い子供から「ありがとうの挨拶」「可愛い歌声」「感謝の手紙」を受取りました。「大きくなったら学援隊になります」という手紙を貰うと感無量です。



6月に3日間「1年生との交流会」が有りました。初日は各クラスに入って子供と我々の紹介、子供からの質問に答えたりしました。「学校に来る時以外は何をやっていますか」「夫婦ゲンカをしますか」など返答に困る珍問も数多く有りました。2日目は体育館で「メンコ、けん玉、コマまわし、折り紙、お手玉、チャンケン」などの遊びをやりました。私も気楽にジャンケンをやりましたが、結構汗をかきました。

6月26日と7月6日の2日間約1時間半ほど交流室で伴校長先生の「特別支援教育について」の講義を受けました、参加者は20名ほどで盛りあがりました。特別支援教育が必要な子は特別変わった子ではなく普通の子とあまり変わらないと感じ、接し方も同じです。8月1日に芦田さんと二人で「特別支援教育研修員制度」の講座を1日受けて来ました、要支援の子供だけでなく一般の子供にも役立つ内容なので9月頃に再度講義を実施したいと考えてます。

6月23日にひなた山支援学校で80名程の参加で「総会」が有りました。瀬谷警察署の飯島署長から「留置場、薬物」の話など普段聞けない講習を受けました。懇親会は普段あまり会話の無い仲間と酒を酌み交わし楽しい一時を過ごす事が出来ました。

子供から「おはよう」「こんにちわ」と声を掛けられると、楽しくなり、嬉しくなります。足腰と頭が何とかなる内は続けてやらねばと思うこの頃です。

『地域連携部会』とは

地域連携部会（ひなた山第一自治会） 今井保美

7年前に子供の少子化に伴い、旧下瀬谷小学校と旧日向山小学校が統廃合され、新たに瀬谷さくら小学校として誕生しました。

時を同じくして学校運営協議会が開設され、その傘下に5つの専門部会が設けられました。その中の一つが地域連携部会です。

もともと旧下瀬谷小学校時代には、下瀬谷地区4自治会で構成された「交流会（黒木会長）」という組織があり、小学校に対しては色々な協力を行って来られていました。特に最大イベントである地域夏祭りに於いて、その支援、運営方法等は顕著であると思います。



新たにひなた山地区が参画するようになりましたが、交流会に対してはおんぶに抱っこのような形になっており、何とか頑張って付いて行くのが精いっぱいと思っております。

しかしながら正直云って地域連携部会の活動としては、実際には何もできていません。しいて云うならば学援隊、さくらの子応援隊の活動の一部として登下校の見守り、算数サポート、クラブ活動の支援、あるいは交通安全指導やスクールゾーンの点検等を通して下瀬谷地区の方々とひなた山地区の人たちが活動を通して顔を合わせ、交流が図れ、お互いが協力し合って共通の目標を達成している。これがまさしく地域連携の形なのかなと思っております。

何か部会としては無型で曖昧なままで7年が経ちましたが、私個人の見解として言わせていただければ、そろそろ地域連携部会を廃し、他の形、他の部会で支援することで頑張りたいなと思います。皆様のご理解を頂ければ幸いです。

広報部会の課題解決にむけて

広報・学校評価部会 芦田 順子

瀬谷さくら小学校も夏休みに入り、猛暑の中さくら小学校地域夏祭りがにぎやかに行われました。凄い参加人数で、このお祭りが地域の交流にとっても重要な役割を占めていることをあらためて実感し、楽しかったお祭りでした。

さて、私が学校運営協議会委員の広報・学校評価部会担当となって2年目になりました。昨年は全部が初めてのことで、とにかく学校運営協議会だよりを出さなくてはとの事ばかり考えて1年過ぎてしまいました。

今年度は、課題である地域参画型学校運営協議会、また支援組織への参加意識を高めるために協議会広報の在り方を工夫していきたいと考えています。部会の皆様と協力して、地域・保護者・関係機関等に学校運営協議会・学校支援の活動を知っていただくように努力しますので今年一年よろしくお願いたします。



「溢れる子どもたちの笑顔をMAXに！」

瀬谷さくら小学校 PTA 会長 力田 良雄

本年度より PTA 会長を務めさせて頂くと同時に、学校運営協議会委員として活動することとなりました力田と申します。よろしくお願い致します。

昨年まで、ごくごく普通のお父さんで、子どもたちの学校での生活に関心はあっても、実際にはどのような学校生活を送っているか詳しい事はわからない状態であった私ですが、PTA 活動を通して子どもたちが多くの地域の方に見守られて生活していることを知りました。登下校時の見守りや交通安全指導、学習支援などあらゆる面での子どもたちへサポートと深い愛情に、改めて地域の皆様には保護者として感謝を申し上げます。



さて、今年の PTA はキャッチフレーズ「夢・未来・希望 みんなをつつむ優しさ MAX2017」を掲げて活動しております。私たち保護者の幼少期とは違う、現在の子どもたちを取り巻く環境に多少の不安を覚えながらも、子どもたちの安全と健全な育成を目指して活動しております。親の立場として、どうしても子どもたちには多くを求める傾向になりがちですが、子どもたちには学校・地域・家庭に守られている安心感の中で、自分らしくのびのびと成長してもらいたいと願っております。そして、その先には夢と希望に満ち溢れた明るい未来が、子どもたちの笑顔を輝かせていると考えています。この想いを胸に、先生方・地域の皆様と協力し、子どもたちが安心して生活できる環境づくりと、子供たちの笑顔とやさしさに満ち溢れた学校を目指し、微力ではございますが尽力してまいりますのでよろしくお願い致します。

【活動実績】

平成29年度運営協議会

第1回 平成29年5月16日

中期学校経営方針、今年度活動方針、PTA活動

第2回 平成29年7月 5日

学校運営協議会規約検討、各部活動計画、全体研修会

【編集後記】

運営協議会だより平成29年度第1号発行にあたり、新役員紹介及び各所属部会を報告させていただきました。今年度から個人情報法が改正され取扱いがより制限されることになり、委員の連絡先等は記載しておりませんが御了承願います。また新年度にあたり各部の方々には原稿を依頼し掲載させていただきました。

日頃から学校運営に対してご意見等をお持ちの方は、ご遠慮なくさくら小学校、又はお近くの運営協議会委員までご連絡ください。

(広報担当部会 渡辺、芦田、力田)

学校運営協議会だより
平成29年度・第1号
平成29年8月28日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者
会長 網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会